

コーチング

開催趣旨

～巧みな質問力で周りを変えるコーチング術～

現在大学は複雑な環境変化の中にあり、職員に求められる力も高度・複雑・専門化しています。その変化に柔軟に対応し「自ら取得した情報をもとに考え、主体的に提案・行動する」職員育成は急務です。そのためコーチングには大きな期待が寄せられています。当研修では「生きたコーチング」を学び、知識のみに終わらせず、現場で即使用することができるテクニックを高めます。部下や同僚との会話を通し意欲を高め、自在な発想をもって自ら働きかけることを促進します。特に質問技法を学び、現場実践に向けての技術を習得します。

- ①コーチングの理論と核になるスキル（傾聴・質問・承認・叱る）を高め、職員間でのコミュニケーションを良好にします。
- ②相手に気づきを与える質問の着眼点を学び、問題発見と解決につながる質問能力を培います。
- ③ペアワークやロールプレイングを繰り返すことで、生きたコーチングスキルを実践を通して体得し、職場で即実行する力を身につけます。

主な対象

中堅以上の大学職員

※上記の方を優先しますが、定員に余裕があればどなたでも参加していただけます。

開催日時

2012 年 9 月 7 日（金） 9：45～17：15

会場

キャンパスプラザ京都 2 階 第 2 会議室（予定）

募集定員

16 名（大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学優先／先着順）

※参加の可否は確定次第、ご連絡いたします。

※参加者が 14 名未満の日については不開講となる場合がありますので、ご了承下さい。

参加費用

加盟大学・短期大学 11,000 円

非加盟大学・短期大学 18,000 円

※お支払い方法等につきましては、改めてご案内いたします。

※大学等の機関で参加費を負担される場合は各機関の窓口担当者様宛に、個人で参加費を負担される場合は、各個人様宛にご案内いたします。

申込方法

大学コンソーシアム京都ホームページの「大学職員共同研修プログラム」のページをご参照いただき、申込用紙をダウンロードの上、メール添付にてお申し込みください。

締切は 2012 年 8 月 1 日（水）です。

URL <http://www.consortium.or.jp/>
〔トップページ→教職員の方→大学職員共同研修プログラム〕
e-mail sd@consortium.or.jp

研修プログラム

- 大学職員に求められる能力 (講義)
 - * 少子化時代を生き抜く大学。あなたは大学職員として何ができるか
 - * 自分の立場で求められているものは何かを考える
- コーチングとは? (講義)
 - * 定義とコーチの役割 コーチング=部下が目標達成をする過程である
 - * 育みフォローする「コーチング」と 答えを与える「ティーチング」
 - * コーチングが有効なときとティーチングが有効なとき ★コーチングだけでは解決しないことがある
- コーチングを用いた部下育成の考え方と手順 (講義)
 - * 目標を明確にし、上司と部下が同じ課題を共有することから始めよう
 - * 目標達成に向けてのストーリー作り
- コーチが持つべき視点 (講義とペアワーク)
 - * 部下の「知識・技術」と「行動傾向」を把握する
 - * 「知識・技術」を活かすことができない 無意識の「信念」に注目する
- コーチング基本スキルの実践 (講義とロールプレイング)
 - * コミュニケーションの土台は、相手と向き合うことから
 - * 「聴く」スキル～部下に心を向ける聴き方～ ポイント習得と実践
 - * 「承認」スキル～部下の心に寄り添う承認～ ポイント習得と実践
 - * 「叱る」スキル～部下が内観できる叱り方～ ポイント習得と実践
- 質問スキル向上がコーチ力を高める鍵 (講義とペアワーク)
 - * オープンクエスチョンとクローズドクエスチョン 内容によって使い分けることで核心に近づく
 - * 質問するときにコーチが忘れてはいけない3つの視点
 - * 現状の観察で的確な質問を投げかける ～相手に見えていないものが何かを気づかせるテクニック～
 - * 他責状態になっていることを気づかせる質問の How-To
- コーチング実践、総合ロールプレイング (ロールプレイングと発表)
 - * 職場で起こり得ることを想定したロールプレイングで実践力を養う
 - * 発表と振り返り
 - * 行動計画 ～明日から始めるためのゴール設定と行動計画～

講師派遣元

株式会社ビジネスコンサルタント
〒600-8413 京都市下京区烏丸通仏光寺下ル大政所町 680
TEL 075-361-4322
URL <http://www.bcon.jp>